

## 2023年6月 キューバ情勢

### 【概況】

#### 1 内政

- (1) 全国で新知事が就任
- (2) キューバ中部及び東部県における大雨被害
- (3) 水不足による抗議デモの発生

#### 2 外交

- (1) メドベージェフ・ロシア安全保障会議副議長がラウル・カストロ陸軍大将に祝電
- (2) マレーロ首相のトルコ、ロシア訪問
- (3) バルハ高等教育大臣及びトゥルヒージョ教育大臣のロシア訪問
- (4) ペトロ・コロンビア大統領のキューバ訪問
- (5) シルベラ法務大臣のベトナム、ラオス、カンボジア訪問
- (6) 米国務長官のキューバにおける中国の情報収集施設設置発言に対する外務大臣声明
- (7) G77プラス中国首脳会合開催の発表
- (8) ライシ・イラン大統領のキューバ訪問
- (9) ディアスカネル大統領の欧州歴訪
- (10) ロペス革命軍事大臣のロシア訪問

#### 3 経済

- (1) キューバ検疫当局、ロシア食品製造企業14社の認定を延長
- (2) 小麦粉不足による配給用パンの不足
- (3) 米国人企業関係者のキューバ訪問
- (4) ヒル副首相兼経済企画大臣による経済概況説明

### 【本文】

#### 1 内政

- (1) 全国で新知事が就任

4日、5月28日に実施された選挙を経て選出された全国の知事及び副知事が就任し、県レベルでの最高行政機関である県行政評議会が構成された。

- (2) キューバ中部及び東部県における大雨被害

6月初旬に降り続いた大雨により、キューバ中部及び東部県で甚大な被害が発生。特にカマグエイ県及びグランマ県での被害が大きく、6名が死亡。1万家屋以上が全壊または半壊した。道路及び鉄道インフラにも甚大な被害が発生した他、農地への被害は1万ヘクタール

を超え、グランマ県では8万人以上が断水の影響を受け続けた。今回の大雨被害は過去30年で最悪と言われ、地滑りや鉄砲水で、複数の集落が孤立した。これを受け、14日、ディアスカネル大統領は対策会議を開催し、被災地への建築資材の優先的確保、飲料水の配給、農地及びインフラ復旧のための戦略策定の必要性を呼びかけた。

### (3) 水不足による抗議デモの発生

27日、オルギン県マヤリ市において、3か月間断水が続いているとして住民が街頭に出て抗議活動を行った。同市当局の説明では、水の供給が停止しているのは、大雨による停電で給水ポンプのモーターが故障したことが要因である由。また、水不足はハバナ首都圏でも6月下旬から深刻化し、約20万人が断水の影響を受けた。26日にはチャップマン副首相が出席してハバナの水道当局が臨時作業部会を開催、断水の原因は主に給水ポンプの故障であり、7月末に到着予定の新たな給水ポンプの設置により水の安定供給が徐々に実現できる旨発表した。

## 2 外交

### (1) メドベージェフ・ロシア安全保障会議副議長がラウル・カストロ陸軍大将に祝電

3日、メドベージェフ安全保障会議副議長は、92歳の誕生日を迎えたラウル・カストロ陸軍大将と電話会談を行い祝意を伝達したことを同副議長の声明で明らかにした。また同副議長は、キューバのロシアに対する協力を高く評価している旨述べるとともに、ロシアとキューバの対話のダイナミクスは、多面的な関係を深めるための多大な努力を反映しており、それは今後も成長し続けるだろうと強調した。

### (2) マレー口首相のトルコ、ロシア訪問

ア 3日のエルドアン大統領就任式に出席するためトルコを訪問。就任式に際して、マレー口首相からエルドアン大統領に祝意を伝達したのに対し、エルドアン大統領は、6月3日に92歳の誕生日を迎えたラウル・カストロ陸軍大将に祝意を表明するとともに、二国間関係の良好な状態とその促進を継続する意思を確認した。5日に開催されたトルコ海外経済評議会（DEIK）主催のトルコ企業との会合では、マレー口首相は、米国による対キューバ経済制裁によるリスクにもかかわらず、キューバとのビジネス展開を継続しようとする意欲と関心に謝意を表明するとともに、キューバは現在、優先事項として、二国間のビジネス関係発展のため税制及び投資の相互促進に取り組んでいる旨述べた。それに対して、パムック DEIK トルコ・キューバ経済委員会会長は、特に医療及び建設分野での協力を拡大したい旨述べた。同会合には、カブリサス副首相兼外国貿易・外国投資大臣、ガルシア観光大臣、デ・ラ・オ・エネルギー鉱山大臣及びポルタル保健大臣が同席した。

イ 6日～17日、マレー口首相はロシアを訪問。7日～9日にソチで開催されたユーラシア政府間協議会（ユーラシア経済同盟（EAEU）の加盟国政府首脳で構成）に出席した他、以

下のおり政府要人と会談を行った。

- (ア) チェルニシェンコ副首相（7日）
- (イ) ミシュスチン首相（7日及び13日）
- (ウ) マトヴィエンコ・ロシア連邦連邦院（上院）議長
- (エ) オレシュキン大統領補佐官（13日）
- (オ) メドベージェフ安全保障会議副議長（13日）
- (カ) ジウガノフ・ロシア連邦共産党書記長（13日）
- (キ) ウオロジン国家院（下院）議長（14日）
- (ク) プーチン大統領（14日）

ウ 15日～16日には、サンクトペテルブルグで開催された国際経済フォーラムに参加。

### （3）バルハ高等教育大臣及びトウルヒージョ教育大臣のロシア訪問

5日、両大臣は、モスクワでファルコフ・ロシア科学高等教育大臣及びクラフツォフ教育大臣とそれぞれ会談し、二国間の科学・教育分野での協力強化の意志を確認した。また、ロシアとキューバの教育省は二国間協力のためのワーキンググループの設立に関する文書に署名した他、ロシア語教師のキューバ派遣計画を確認した。また、両国の大学間協定の拡大の可能性についても意見交換した。現在、約300名のキューバ人奨学生がロシアに留学中である由。その後、両大臣は、7日～9日にカザンで開催された教育フォーラムに参加。

### （4）ペトロ・コロンビア大統領のキューバ訪問

8日～9日、ハバナで開催されたコロンビア政府とコロンビア民族解放軍（ELN）の和平交渉第三ラウンドの閉会式に出席するため訪問。9日の停戦合意発表の後、ディアスカネル大統領は、ペトロ・コロンビア大統領と会談し、コロンビア前政権によって中断されていたELNとの交渉及びコロンビアの平和への道を活性化させたとして、ペトロ大統領の平和への特別な貢献を賞賛するとともに、対話プロセスの保証人としてのキューバの原則的な立場を擁護したことを強調した。

### （5）シルベラ法務大臣のベトナム、ラオス、カンボジア訪問

9日～15日、シルベラ法務大臣はベトナム、ラオス、カンボジアを訪問。ベトナムではLe Thanh Long 法務大臣と会談し、二国間協力関係の拡大を確認した他、グエン・カック・ディン共産党副議長兼中央委員会委員、Le Thang Long ベトナム最高人民裁判所副長官等と会談した。ラオスでは、Phayvy Syboualypha 法務大臣と会談を行い、両国の関心分野における協力覚書が締結された。その他、シパンドーン首相を表敬訪問した。カンボジアでは、Koeut Rith 法務大臣と会談し、法律分野での協力と経験の共有を拡大することに合意した。

(6) 米国務長官のキューバにおける中国の情報収集施設設置発言に対する外務大臣声明

12日、ブリンケン米国務長官が、中国がキューバに情報収集施設を置き、2019年に増強した旨述べたことに関し、ロドリゲス外務大臣は「虚偽」であり「根拠がない」として非難する声明を発表した。既にキューバ外務省は、8日付ウォールストリート・ジャーナル紙電子版(8日付)が中国がキューバに通信傍受施設を建設することで両政府が原則合意した旨報道した際、それを否定するコシーオ外務次官による声明を発表していた。

(7) G77プラス中国首脳会合開催の発表

14日、ディアスカネル大統領は、本年9月15日～16日、ハバナでG77プラス中国首脳会合を開催する旨発表した。キューバは本年1月からG77の議長国。首脳会合のテーマは「現在の開発課題：科学、技術、イノベーションの役割」である由。1964年6月に発足したG77プラス中国は、134か国が加盟。

(8) ライシ・イラン大統領のキューバ訪問

14日～15日、両国の外交関係樹立40周年を記念してキューバを訪問したライシ大統領は、ディアスカネル大統領と会談し、6つの協定に調印(両政府間の包括的協力プログラム、両国外務省間協力及び政治協議のメカニズムに関する覚書、税関当局間の協力覚書、情報通信技術分野に関する協定、法務省間の協力拡大協定等)。また、ラウル・カストロ陸軍大将とも会談し、両国の協力関係強化とハイレベル政治対話の継続に向けた二国間の意志を再確認した。

(9) ディアスカネル大統領の欧州歴訪

19～23日、ディアスカネル大統領はイタリア(含バチカン)、セルビア、フランス各国を歴訪。

ア バチカン訪問

19日、フランシスコ法王は、ディアスカネル大統領と約40分間の個別会談を行った。ディアスカネル大統領は会談後、ツイッターで、「法王とは率直な意見交換が出来た。法王に対しては、キューバの現状、特に深刻さを増す経済制裁が国民に与える深刻な影響につき説明した」旨コメントした。

イ イタリア訪問

(ア) 20日、両国間の外交関係設立120周年を記念して、イタリアのセルジョ・マッタレウラ大統領との会談が行われ、両国関係の更なる促進への意思を確認し、特に双方が関心を持つ経済・商業、文化、医療等の分野で協力を促進していくことを確認した。

(イ) また、ディアスカネル大統領は、ドンユイFAO事務局長を同本部に訪問し、FAOの食料安全保障、食育プログラムの複数のプロジェクトを通じた支援をキューバが受けていることに感謝の意を表明した他、キューバと経済・商業関係を持つイタリア人起業家との

会合に出席し、「何世代にも亘ってキューバとの商業関係の促進に貢献している」として謝意を表明した。

#### ウ セルビア訪問

(ア) 21日に行われたセルビアへの公式訪問では、アレクサンダル・ヴィチッチ大統領との会談が行われ、ディアスカネル大統領はツイッターで「良好な二国間関係の現状を確認するのみならず、これまであまり深化させてこなかった経済・商業、観光、バイオテクノロジー、保健医療、農業、科学技術といった分野の交流を今後促進していくことで合意した」旨コメントした。

(イ) また、ディアスカネル大統領は、同国議会のウラジミール・オーリック議長とも会談。先の内戦で亡くなった戦没者の慰霊碑に献花を行い、また、セルビア軍の施設なども訪問。

#### エ フランス訪問

(ア) 22、23日にマクロン仏大統領のイニシアティブでパリで開催された「新たな国際的開発資金取り決めのための首脳会合」に、G77+中国グループの議長国として出席。同会合では同グループを代表してスピーチを行った。

(イ) また、フランス滞在中に、オードレ・アズレUNESCO事務局長を同本部に訪問し、長年に亘ってキューバを支援してきたUNESCOからの支援に感謝の意を表明した。

#### (10) ロペス革命軍事大臣のロシア訪問

27日～30日、ロシアを訪問したロペス革命軍事大臣は、ショイグ・ロシア国防相と会談し、軍事分野における両国の絆の堅固さを確認した。会談でショイグ国防相は、「キューバはこれまでも、これからも、中南米地域におけるロシアの最も重要な同盟国である。キューバの友人たちは、ウクライナで軍事作戦を開始した理由を完全に理解している」旨述べるとともに、ロシアはキューバとの軍事技術分野における一連のプロジェクトの共同開発を計画しているとした。

### 3 経済

#### (1) キューバ検疫当局、ロシア食品製造企業14社の認定を延長

2日、キューバ農業省国立動物衛生センターは、ロシア連邦獣医植物検疫監督局の保証のもと、キューバ側の検査に合格したロシアの食品製造企業14社に発行した認定を延長したと発表した。

#### (2) 小麦粉不足による配給用パンの不足

5日付国営メディアは、小麦粉不足で配給用のパン製造が安定していなかった問題に関し、4日に小麦粉を運搬する船舶がハバナ港に入港したため、今後はパンの生産が安定する見込みである旨報じた。報道によると、本年4月及び5月に到着する予定であった3隻の小麦粉運搬船が、米国による対キューバ経済制裁の影響でキューバ側からの支払いが滞った

ことが小麦粉不足の原因である由。

### (3) 米国人企業関係者のキューバ訪問

8日、ディアスカネル大統領は、キューバを訪問中のボーム米国食品産業協会副会長及びフェルナンデス Hope for Cuba 財団（1998年、米キューバ間貿易を促進することを目的に設立された財団）代表と会談し、米キューバ間のビジネスの可能性と経済封鎖による障害について意見交換を行った。ボーム同副会長他は、5日にカリカルテ・キューバ商工会議所会頭と会談し、特に食品分野での貿易関係の確立に関心を示した。

### (4) ヒル副首相兼経済企画大臣による経済概況説明

14日に開催された会合でヒル副首相兼経済企画大臣は、キューバ経済現状について、ディーゼル燃料が産業のためではなく発電に転用されたことが国の生産活動に悪影響を与えたことを認めた上で、燃料不足に直面している状況では停電で住民に影響を与えないよう発電を優先し国内生産の工程を停止するという難しい決断を迫られている旨述べた。また、キューバの最大の財政支出は食料費と燃料費であることから、主に食料生産と再生可能エネルギーの発展のために外国投資を呼び込むことに注力していること、近年の物価上昇は経済が直面している最も目に見える問題のひとつであること、目標とする経済成長を達成するための外貨が不足していることを認めた。